

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		3Piece		公表日 令和7年2月26日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	1	・個別に対応が必要ときに少ない。 ・もう少し職員がいても良さそう。	・よりよい支援を行っていくため、児童分野の専門性を備えた職員の育成、配置に努めます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		・トイレのスリッパをそろえる位置などを明確にしている。	・指導訓練室内で、マットを敷いて遊びの内容を決めています	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。		5		・こまめな消毒・掃除の継続は必要。 ・整理整頓の維持が必要。	・こまめに室内、おもちゃ等の清掃、また送迎の車内の消毒を行っています。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5			・こどもから要望があれば、個別の部屋や場所を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・日々の振り返りをしている。	・日々、職員会議を行い、意見を発表する場を設けています。また、その意見を元に業務改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者会も合わせて行っている。 ・交流会を行っている。	・この評価表をまとめたあと、会議を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・日々、職員会議を行い、意見を発表する場を設けています。また、その意見を元に業務改善を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・第三者による外部評価を行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・継続が必要。 ・新たに必要なのはその都度取り入れていく。 ・月に一回、会議が行われており、学ぶことができている。 ・個別で話をする機会もある。	・毎月、法定研修を行っています。 ・積極的に外部研修に参加しており、事業所内で共有しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・把握していない。	・こどもが率先して参加するような活動を行っています。 ・今年度から支援プログラムを公表し、また毎月の活動内容も公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	・月間の活動案内を出している。	・こどもの特性に合わせて、個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			・こどもの特性に合わせて、個別支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・これからも計画に沿った支援を行っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・いろいろな見方からアセスメントをするよう、心がけていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・把握していない。	・よりよい放課後等デイサービス計画を設定できるよう、努力します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・季節や年中行事を取り入れ、また飽きないように工夫した活動を職員で考えながら、行っています。	